

1. 重点戦略 数値目標について

NO	第4回審議会に出された意見	事務局回答	対応表
1	重点戦略に代表的な数値目標が示されているが、この数値目標を達成すれば、施策の目的を達成したと言えるのか。市民が誤解しないように記載した方が良い	重点戦略の取組みは幅広いため、全ての取組みの成果を数値で表すことは難しい。プロジェクト別にはそれぞれ KPI を設定している。ここに挙げた数値目標は（施策の達成度を判断するための）代表的な指標を挙げている。各施策の具体的な成果は成果報告書に示す。ことわり書きを書くなど、誤解を招かないようにしたい。	・数値目標については、4つの戦略の成果を検証するために設定するもので、市民の皆さんに分かりやすいよう、以下のとおり整理し、修正します。 ①国の「地方版総合戦略策定の手引き」に基づき、「住民にもたらされた便益（アウトカム）」を検証できる指標を設定する。 ②市民アンケート調査から、市民ニーズを把握する数値を設定する。
2	“女性”のキーワードが入ったのは、この計画のメッセージだと思うが、それが目標値（KPI）に現れていない。「合計特殊出生率」だけ記載されていると何のための目標値なのか分かりにくいので、例えば、「女性が安心して子どもを産める環境にするために合計特殊出生率の向上」などと表現してはどうか。	KPI の表現、設定の仕方については再度整理したい	・数値目標について、市民の皆さんに分かりやすいように説明書きを加えます。

2. 重点戦略・プロジェクト別の KPI について

NO	第4回審議会に出された意見	事務局回答	対応表
3	<重点戦略2> 目標値の一つに「新規就農者数」を入れたのは良い。出来れば、「うち女性〇人」と目標を出せないか。詳しくはアクションプランの中だと思うが、可能であれば対応して欲しい	女性の就農者数は検討中。農業で活躍している女性もいる。アクションプランの中で書き入れることを検討している。数値目標として女性を記載する方法もあるので、持ち帰って担当課と検討したい	新規就農者の確保が急務となる中、性別に関わらず施策を講じる必要があることから、女性に限った数値目標や具体的な対応を明記することは難しいと考えております。
4	<重点 p 1-2> 特定教育・保育施設の利用者数の目標値が 2400 人とある。保育士がいなくて、数値上は足りているが、現状は保育士が不足している。もう一度目標指標の考え方を検討して欲しい。	この目標値については、各担当課に確認を取りたい。	この目標値については、個別計画である「第2期 日向市子ども・子育て支援事業計画」（令和2～6年度）の目標値と同値としています。 令和元年 10 月から実施された「幼児教育・保育の無償化」の影響が、今後どの程度出てくるか見込めない状況にあります。が、需要量（入園希望児童数）が減少すれば、供給量（利用定員数）の減少も検討していくこととなります。

NO	第4回審議会が出された意見	事務局回答	対応表
5	＜重点p 1-3＞ DV防止の目標値は講座の実施回数となっているが、これは活動指標であり成果指標ではない。目標の回数を実施すれば問題が解決する（成果が出る）ということではないので、成果指標にした方がよい。	KPIの表現、設定の仕方については再度整理したい	DV防止については、DV被害者が減少することが成果であると考えておりますが、被害者数を正確に把握することは非常に困難であるため、活動指標を指標として設定しています。
6	＜重点p 3-1＞ 障害者支援センター「あいとぴあ」の利用人数について、目標値が13,000人となっているが、高齢化等もあり、利用者は減少している。どのようにして増加させていくのか根拠が分からない。あいとぴあは、貸館事業であり、今年はずっと減ると思う。	「あいとぴあ」は駅前にあるので、もっと活用すべきという意見があり利用者数の増加を目標値としている。数値の設定根拠は担当課に確認したい。	目標値13,000人は、開設からの実績を参考に設定しています。「あいとぴあ」は、障がいのある人と市民との交流を促進し、障がいのある人への理解を図ることも、施設が担う目的の1つであるため、周知活動により、障がいのある人をはじめ、新規の一般利用者を増やし、目標数値を達成したいと考えています。
7	＜重点p 4-3＞ SDGsの取組みを見ると自然保護の一つとして取られがちである。SDGsと関連した具体的な数値目標が設定できるといいのではないか。	KPIの表現、設定の仕方については再度整理したい	SDGsについては、施策体系表で示しているとおり、市の全ての施策と関連があり、それぞれの施策において数値目標を達成することが、SDGsが目指すまちづくりの達成に寄与すると考えています。重点戦略では、SDGsに関する認知度を向上させ、市民の皆さん一人ひとりがSDGsの取組について、自ら考え行動できるような啓発活動に努めることを目標とし、セミナー参加者の満足度を指標に設定したものです。

3. 具体的な施策の内容（分野別施策）について

NO	第4回審議会が出された意見	事務局回答	対応表
8	＜全体＞ 重点戦略のテーマとして、“若者”に加えて“女性に選ばれるまち”としたのは特徴的で良い。女性の視点は重要。女性が働きやすく、住みやすくするため、もっとオリジナルな施策を出せないか	コロナで外部からの意見を聞く機会がなかったため、庁内ワークショップで議論し、重点戦略アクションプランの具体的な取組を検討している。来年度、新しい男女共同参画プランを策定する中で女性会議の開催等を通して、新たに取り組む施策を検討していきたい。	女性が働きやすく、住みやすくするための施策に関しましては、令和3年度より市の組織体制も強化し、女性会議の開催等を通して出された意見を参考に、新たな取組を検討してまいりたいと考えております。また、行政だけでなく事業者の皆さんや民間団体と協働により取り組むことが重要でありますので、新たな組織のもとで、協働による取組を進めてまいりたいと考えております。

NO	第4回審議会で出された意見	事務局回答	対応表
9	<全体> SDG s をきちんと紐づけている自治体はないと思うので、新たな取組として評価したい。自治体は、そもそも持続可能なまちづくりの取組をされているので、分野別の施策がSDG s のゴール達成に向けた取組と連動している点を分かりやすくするといいのではないかな	KPI の表現、設定の仕方については再度整理したい	基本計画（分野別施策）については、それぞれにSDG s のゴールとの紐付を行い、市民の皆さんにも分かりやすいように標記したいと考えております。 また、令和3年度より、資料やチラシ、ポスター等を作成する際に、SDG s が目指すゴールの何に寄与するのか分かりやすく明記するよう努めてまいりたいと考えております。
10	<全体> 新型コロナの影響が数年は続く。 特に医療・福祉の分野では、分野別施策にコロナに対する今後の対応等について記載すべきではないか。	コロナの影響は産業面にも生じるので、もう少し（コロナ関連の施策を）追記したい。	P 8 3、P 8 5を修正しました。 「<u>新型コロナウイルス感染症など</u>新たな感染症の情報を収集し、正確な情報提供を行うとともに、関係機関と連携した適切な対応を図ります。」 なお、新型コロナウイルス感染症への対応については、第3波の感染拡大を受け、今後の状況が見通せない状況が続いているため、総合計画の中で具体的な対応を明記することは難しいと考えております。 これまでと同様に、感染症防止策や市民への支援策など、状況に応じて速やかに予算を編成し、施策を講じてまいりたいと考えております。
11	<施策2-3> ①高齢者施策について、介護人材不足や賃金など就業環境が大変厳しい状況にあり、ケアマネも高齢化している。今後、介護人材が減少するため市の支援が必要ではないか。 ②会議や研修会などへの出席を求められるが、介護現場の負担が増加している中で、対応できない場合もある。負担軽減に向けた対策を講じていただきたい。	医療介護、福祉系の人材不足、仕事に対する負担は聞いている。そうした方々のワークライフバランスは重要だと思う。持ち帰って担当課と検討をしたい	基本計画 「2-3 高齢者福祉の充実」の一部を以下のとおり修正します。 なお、介護人材、特に介護支援専門員については地域包括ケアシステムの中核的存在であることから、あらゆる機会を通して国、県に処遇改善を図るよう訴えているほか、市独自の支援策を検討中です。介護人材の確保・育成に関する具体的な取組については、現在策定中の「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の中で示したいと考えております。 P 8 7 不足している介護人材 ⇒不足している介護人材の確保・育成 p 8 9 ③介護サービスの充実と持続可能な制度運営 ○ 介護サービス事業所と連携を図り、介護人材不足の実態を把握し、介護人材の確保に努めます。 ⇒<u>確保・育成に努めます。</u>